

Hinata Bokko

Hinatadai Hospital Public relations magazine



夏の丘の木陰 人々の心に やすらぎを

特集

「優しさ」と「ていねいさ」

精神科地域包括ケア病棟



日向台病院
ホームページ

公益財団法人積善会 日向台病院
〒241-0014 神奈川県横浜市旭区市沢町 1081
TEL/045-373-4114 (代表) FAX/045-373-4468
発行/広報企画推進課 Vol.20 2024.07
印刷/特定非営利活動法人横浜 SSJ (就労 B 型事業所)

日向台病院

検索



HINATADAI1960
Instagram

日向台病院 広報誌 Vol.20

優しさといねいさ

精神科医療は様々な治療が発展してきました。
新薬、精神科リハビリテーション、訪問支援（看護）などエビデンスに基づいた治療があります。
それだけではありません、福祉ではグループホーム、ヘルパー、就労支援、生活支援まで幅広く精神疾患で苦しんでいる方々の「生きづらさ」をサポートしています。
とある日の外来で患者さんがこのように話していました。



「10年前には想像していませんでした。」
「こんなに支援者が多くなるとは思っていなかった。」
しかし、それだけでは人の「こころ」は治らないと思います。
そこには人とひとが触れる時、優しさやといねいさがいつ、どんな時代でも必要とされていると思います。



私たち「日向台病院」の良さは一体何であるのか考
えた時、ありふれているかもしれない、ただこの言
葉は時代が変わっても変わらず大切なことだと思いま
す。

優しさといねいさ

この言葉は多くの場面で見聞きすると思います。人
によっては聞き飽きたと思うでしょう。
しかし、そこまで多く見聞きするのは人々が大切なこ
とだと思っているからです。

それをわたしたち日向台病院が大切にしていきたいと
願っています。

ひとつひとつの出会いやふれあいに優しさといね
いさを。

そして、こころ苦しむ、生きづらさを抱えている方々
へ少しでもやすらぎを与え、その先の笑顔で私たちも
笑顔になることを。

院長 長谷川 吉生

精神科 地域包括ケア

病棟

ひと時の繰り返し

精神科地域包括ケア病棟 精神保健福祉士 下嶋 将司

患者さんを支えたいと思い精神保健福祉士になり 10 年以上が経ちました。

患者さんと共に退院を目指し、「ひと時」を繰り返していく。その中で「あなたがいてくれて良かった」と言われた時は患者さんの退院を支え続けてきて良かったと思いました。



Sunday	Monday	Tuesday
5	6	7
12	13	14
19	20	21
26	27	28

心の病気によって生きづらさを抱えている方たちを支えたいと想い、精神保健福祉士として10年以上、患者さんの退院支援に携わってきました。

日々思うのは、退院するために家や施設まで一緒に外出する時に、患者さんから話しを聞く時が1番大切な「ひと時」であると思います。

その「ひと時」にその方の強みを感じ、さらには本当の気持ちを知ることがあります。

その様にして患者さんの色々な魅力や可能性を感じる時が大事だと想っています。

退院するために様々なサポートがあると思います。

就労支援、グループホーム、訪問看護、精神科デイケア。

しかし、それらのサポートを受ける前にまずはその方の魅力や強みを知る必要があります。

それによって人は一歩前に進み、退院を迎えることができると思っています。

私はそのようにして10年以上、様々な患者さんの退院を支えてきました。

退院に向けて自信を失いかけてそうになる患者さんもいます。しかし、時間をかけて患者さんの魅力や可能性を話したり、一緒に行動をしたり、自信を身につけてもらうプロセスを踏むことが大切だと感じます。

最後に、退院した患者さんが外れで帰る際「あなたがいてくれて良かったです」と言われ、患者さんの退院を支え続けてきて良かったと思いました。

こうして日々、患者さんと共に退院を目指し、その「ひと時」を繰り返していくことが私たちの大切なプロセスだと思っています。



私たち日向台病院は2024年6月より精神科地域包括ケア病棟を開設し、積極的な退院支援を行うために以下の取り組みをしています。

- ・入退院支援の専門スタッフの配置
- ・訪問看護の実施
- ・地域のクリニック・支援機関と積極的な連携

上記取り組みを行い、今まで以上に手厚い退院支援を行って参ります。

入院などのご相談は以下の窓口までご連絡ください

045-373-4114 (代表) / 医療福祉相談室 又は 入退院支援部

